

第4ブロックグローバル高専事業報告書

津山高専・グローバル高専事業実施 WG

座長 杉山 明

0. 組織編成

平成 28 年度より第四ブロックのグローバル高専事業拠点校を拝命することとなったが、その際に、大きな柱として、次の二点を掲げた。即ち、

①失敗を恐れない

②拠点校の津山だけでなく、ブロック内 13 高専全体で取り組む

ということである。そのために事業を具体的に推進するための 10 部会を設置し、ブロック内 13 高専のすべてが、それぞれの特徴に応じて、いずれか一つあるいは複数の部会に参加する体制を構築した。これにより拠点校である津山高専を中心にしてブロックにおける機動的な事業推進が可能になっている。各部会は事業の進捗に従って、毎年柔軟に改編することとしたため、29 年度は 6 部会、30 年度は 7 部会での活動となった。(別紙 1)

各部会の部会員は数名にとどめたことが作業効率のアップにつながったが、各高専が各部会の活動内容を知らないようではいけない。それを防ぐために年 2 回の連絡会を開催し、13 高専から連絡委員を出していただき情報の共有化を進めた。連絡会の会場を各校の持ち回りにしたのも、13 高専の全てに当事者意識を持っていただくためである。

以下に各部会毎の活動を報告する。

1. グローバル人材育成カリキュラム検討部会

グローバル高専事業実施の目標はグローバル社会に貢献し活躍する人材を輩出することであるが「グローバル社会に貢献し活躍する人材」とはどのような資質を持つべきかは曖昧模糊として明確でなかった。そこで、遠回りかと思ったが、敢えてそれを議論する部会を設置した。

三年間の議論の成果は『技術者倫理・グローバル社会で活躍するための異文化理解』という冊子に結実したが、これは民間でも高く評価され、実教出版から 2018 年 11 月に出版された。このテキストは今後各校で、特に異文化理解、海外研修の入門として利用する予定である。

2. 求められる英語力・英語教育法の検討部会

グローバル社会で活躍する人材にとって英語能力は、その全てではないが、大きな要素である事は間違いない。しかしそこで求められる英語力は、現在行われている英語の授業で身につけられるものとは異なる。そこでまず求められる英語力の中身を明確にすることが必要であった。第 2 部会で議論の結果得られた結論は、

①自己の学習、研究内容を英語で説明できる。

②自己の専門について英語で討論できる。

というものである。

さらにそれらを醸成するための教育法が研究された。

③英語による英語授業・・・しかし 100% 英語である必要は無い

④英語による他教科授業・・・理数、専門は特に有効

⑤集中的に英語のみの環境に身を置く。

③④を実施するための具体的方策の検討が、8. 英語による英語授業の実施部会、9. 英語による他教科授業の実施部会の課題となる。また⑤の実践を検討するのが、6. 英語合宿の実施検討部会であることは言うまでも無い。

3. 第二外国語教育の充実検討部会

英語の能力が大切なことは議論の余地がないが、危惧されるのはそれが欧米崇拜、さらには途上国蔑視につながることである。特に高専の卒業生が協働作業をする対象はアジアの国々の人材である事が多い。彼らと力を合わせ成果を上げるためにはアジアの国々の文化を理解し尊重する心を作らねばならない。そのために、アジアの言語を中心とした第二外国語教育の充実と、第二外国語を通じた文化理解を提案する。

ただ現実には厳しく、高専における第二外国語は、時間数の削減、適切な講師の不足等で、むしろ逆風下にある。本部会の活動は、そんな状況下でどのように第2外国語教育を進めて行くか、というものになった。具体的には以下の様な活動が実施された。

- 平成 28 年度 ・ブロック内 13 高専の第二外国語教育の実態調査（別紙 2）
 - ・理系向け中国語テキストの作成による中国語教育の質確保
 - ・高専フォーラムに於いてポスター発表
- 平成 29 年度 ・高専学会にて講演、パネリスト
 - ・中国語の出前授業実施（杉山が米子高専へ出講 別紙 3）
- 平成 30 年度 ・中国語、ハングルの集中講義実施（別紙 4）
- 平成 31 年度 ・高専フォーラムに於いてポスター発表（予定 別紙 5）

4. 海外研修(アジア圏)実施部会

5. 海外研修(英語圏)実施部会

→ 平成29年度より海外研修実施部会に統合

海外研修が学生の海外に対するハードル感を取り去り、国際感覚を養うのに大きな効果があることに議論の余地はない。しかし平成 28 年度時には、独自の海外研修プログラムを持たない(あるいはほとんど無い)高専も少なくなかった。海外研修の実施を妨げている要因はいろいろあるが、人的、経費的負担の大きさとノウハウを持たないことが大きな要因であるに違いない。

そこで、人的、経費的負担の軽減と先発校のノウハウを共有するために、ブロック内 13 高専共同のプログラムを準備し、13 高専の学生全てが参加できるようにした。例えば A 高専のプログラムに B 高専の学生が参加しても B 高専の教員の引率は求めない。そのため引率教員の労力と引率旅費の負担は発生しない。但し、この三年間はノウハウの共有化のために他高専からの引率 1 名をお願いした。

実は海外研修の共同化は中国地区 8 高専コンソーシアムとして、グローバル高専事業開始前から実施されていたものである。グローバル高専事業としては、これを四国地区まで拡大したにすぎない。その後、29 年度、30 年度と少しずつ共同プログラムを増し、現在に至っている。(別紙 6) この三年間の成果として、第四ブロック全体として海外研修参加学生が増加傾向にあることが見て取れる。(別紙 7)

6. 英語合宿の実施検討部会

すでに述べたごとく、学生に集中的に英語のみの環境に身を置く経験をさせるここを目的としたプランを計画、実施する部会である。

平成 29 年度 8 月 28 日（月）～30 日（水）於小豆島 参加学生 40 名

平成 30 年度 8 月 27 日（月）～28 日（火）於五色台 参加学生 30 名（別紙 8）

学生 3～4 名にネイティブ 1 名がつき、二日乃至三日間英語漬けの生活を送ることは大変有意義なことであるが、外部から招くネイティブの謝金が大きく、これをこのまま継続することは難しい。

代替案として検討中なのが、韓国永進専門大学における英語村への参加だ。文化体験もあるがあくまで英語にどっぷりつかると二週間を経験できる。日本から近く、旅費が安いのも魅力的だ。もちろん旅費、参加費とも学生の個人負担なので、学校としての必要経費は引率教員旅費のみにとどまる。平成 31 年 3 月には試みとして津山高専を含む複数の高専から学生、教員が参加する。（別紙 9）

7. 国際ロボコンの開催 → 平成29年度より協働モノツクリ検討部に統合

部会長 津山高専・杉山明

本部会は、津山市から、市主催の「つやまロボコン」を国際大会にしたいが、ついでには津山高専の交流提携校に参加を打診して欲しい、という依頼を受けて発足したものである。当初は津山高専の学生に海外チームのアテンドをさせることで国際経験を積ませることができる、という程度の認識だったが、二年目からは提携校の学生と高専の学生で連合チームを作り、大会に参加させることとした。異文化人材との協働作業を体験させることを狙ったのである。実際にはどの段階でどの程度の協働が可能かを探る所から始めねばならず、考えたとおりの成果があがっているわけではないが、学生にとって貴重な経験となっているのは、彼らの取り組みの様子や感想を見る限り間違いない。

平成 28 年度 ニーアンポリテク(シンガポール)、大連東軟信息学院(中国)、プリンセスチュラポーン(タイ)の 3 チームが参加

平成 29 年度 ラドフォード(オーストラリア)＋呉高専
プリンセスチュラポーン(タイ)＋津山高専の 2 チームが参加

平成 30 年度 ニーアンポリテク(シンガポール)＋新居浜高専
プリンセスチュラポーン(タイ)＋津山高専の 2 チームが参加

8. 英語による英語授業の実施部会 → 平成29年度より英語教育法検討部に統合

津山高専にはグローバル高専事業開始前から常勤の英語ネイティブ教員がおり、英語による英語授業はすでに始まっていた。しかしこれをブロック内の他高専に拡大することが拠点校の責務である。グローバル高専事業の一環として、定期的にブロック内の教員を対象とした研修を実施してきた。

9. 英語による他教科授業の実施部会 → 平成29年度より英語教育法検討部に統合

それ以上に大きな成果が上がっているのは、英語による他教科授業の実施である。前述のごとく津山高専にはグローバル高専事業開始前から常勤の英語ネイティブ教員がおり、平成 27 年には該当教員を講師として英語以外の教員を対象に校内 F D が開催されている。

グローバル高専事業としては、先ず津山高専で提携校である大連東軟信息学院(中国)から数学の教員を招き、一週間にわたって英語による数学の授業をしてもらった。学生にとっては初めての体験であった事は言うまでもない。さらに翌年からは相互訪問とし、高専の教員が相手校で英語でそれぞれの専門授業を講義することとした。もちろん教員に英語での授業実践の経験を積ませることが目的である。平成 29 年度からは他高専でも同様の試みをしていただいた。（別紙 10）

もちろん平行して他教科教員対象の英語による授業研修も行ってきた。(別紙 11) さらに教案を作成し開示することでより取り組みやすくなるのではないかと考え、教案例の蓄積に努めてきた。31 年 3 月には 3 年間の集大成としてガイドブックを完成し、各校に配布済みである。

10. 協働モノツクリ検討部会

異文化異言語人材との協働作業を体験させるプラン設定を狙った部会。平成 29 年度からは、7. 国際ロボコンの開催部会を吸収統合し、つやまロボコンの参加が主たる責務となった。一方で、短期留学生を受け入れて研究室に配属、協働で実験、実習を進めることも考え、その準備に取り組んだ。この部分の成果は、平成 30 年度から 11. 短期留学生受入検討部会に引き継がれることとなった。

11. 短期留学生受入検討部会

本部会は 29 年秋の連絡会でその設置が提案され、30 年 4 月に発足したものである。設置の意図は以下のようなものである。

学生に異文化異言語に触れさせるには海外研修は大変有用である。

しかし海外研修に参加する学生は限られており、残る学生をどうするかが課題。

ならば通常の学校生活に異文化人材を招き入れ無理矢理国際環境を作り出せば良い。

長期の留学生は日本語ができるので不適切、短期留学生が望ましい。

第一歩として、各校の短期留学生受け入れ状況を調査した。(別紙 12) さらにそれを踏まえた上で、短期留学生受入の障害となっているのは何か、受入拡大の方策はないか、を検討中である。

12. 日台カンファレンス

グローバル高専事業開始当初は想定されていなかった事業として、日台カンファレンスがある。台湾国立聯合大学側の要請で始まったものだが、平成 29 年 9 月に聯合大で第 1 回が開催され日本側からは第四ブロックを中心に数高専が参加した。その際に聯合大側から第 2 回は日本で、という要請がなされ、幹事校宇部高専、会場校津山高専でお引き受けすることとなった。第 2 回は 30 年 7 月に岡山市で開催され、教員、学生合わせて 100 名以上の参加者を得た。

日台カンファレンスは台湾と日本（第四ブロック）で交互に開催される。第 4 回は日本開催となるが、すでに阿南高専と香川高専の共同開催が決定している。また、韓国永進専門大学が参加を希望しており、日台韓カンファレンスとなる可能性もある。

13. H P の作成 (<http://www.global4thblock.jp/>)

他高専からのご提案により、H P を作成、運用することとなった。立ち上げやコンテンツの準備に手間取り、公開が始まったのは 28 年度末からであった。開設当初は事業の広報にとどまっていたが、現在は各事業の要項、申込書の格納、トラブルシューティングの蓄積等実務的な利用とともに、リレーエッセイのような読み物的な面も兼ね備えた運用となっている。

14. 総合的な成果

三年間のグローバル高専事業によって得られた成果は小さくない。具体的には、以下の様な成果が挙げられる。

①ブロック内の海外渡航学生数が上昇した。

別紙 8 によれば、若干の上下はあるものの、第四ブロック全体の海外研修参加学生数が増加傾向にある事は間違いない。第四ブロック 13 高専で海外研修参加学生数はグローバル高専事業が始まる前の平成 27 年度は 341 名であったが、平成 30 年度には 411 名に達している。

②ブロック内の高専間の連携意識が向上した。

連絡会の開催、部会制度による共同作業が、高専間の連携意識を高めるという副産物も生んだ。これは以下のような事実から看取できる。

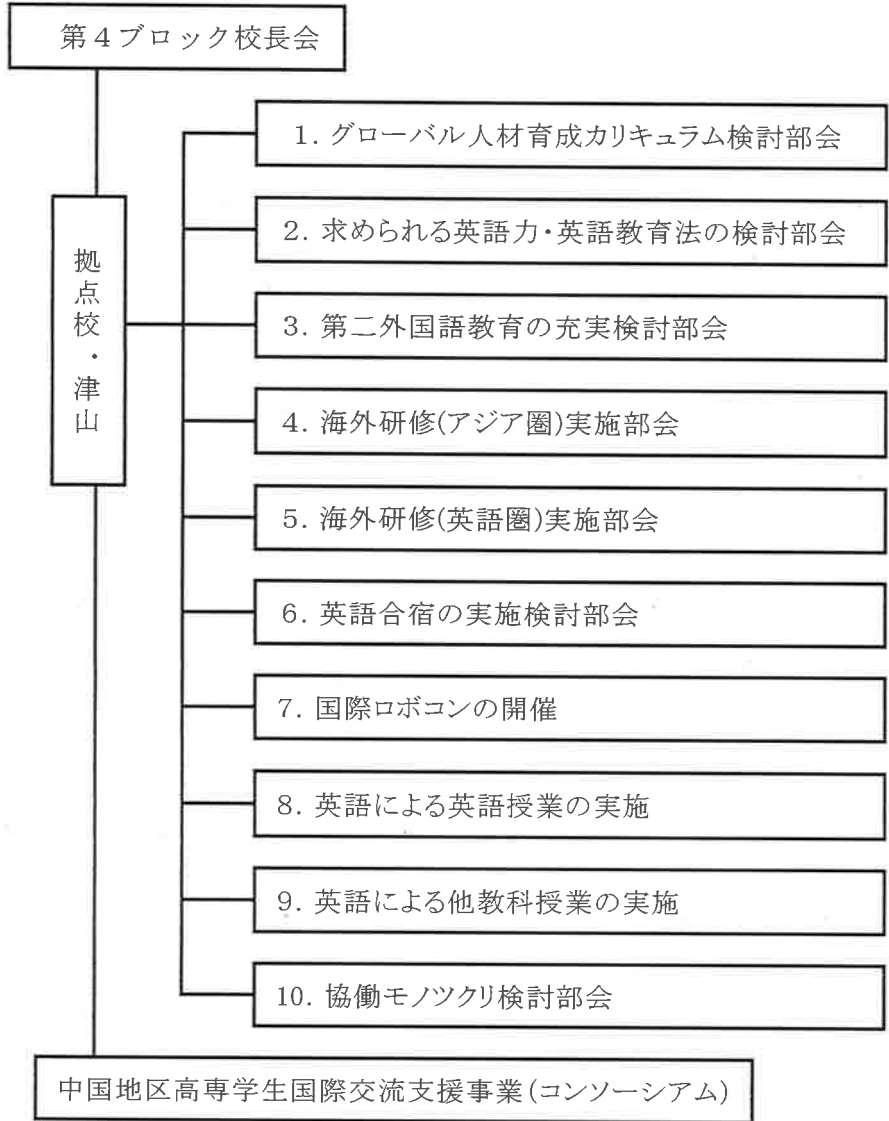
- ・関係した英語の教員は現在の英語教育法検討部会を発展させた研究会を立ち上げようとしている。
- ・28 年当時は拠点校から連絡、打診しても回答さえないこともあったが、現在は取り組みに積極的な回答をいただくことが多い。
- ・中国地区 8 高専によるコンソーシアムの拡大を四国地区各校に打診することが中国地区校長会で決定された。

2019 年 3 月 20 日(水)

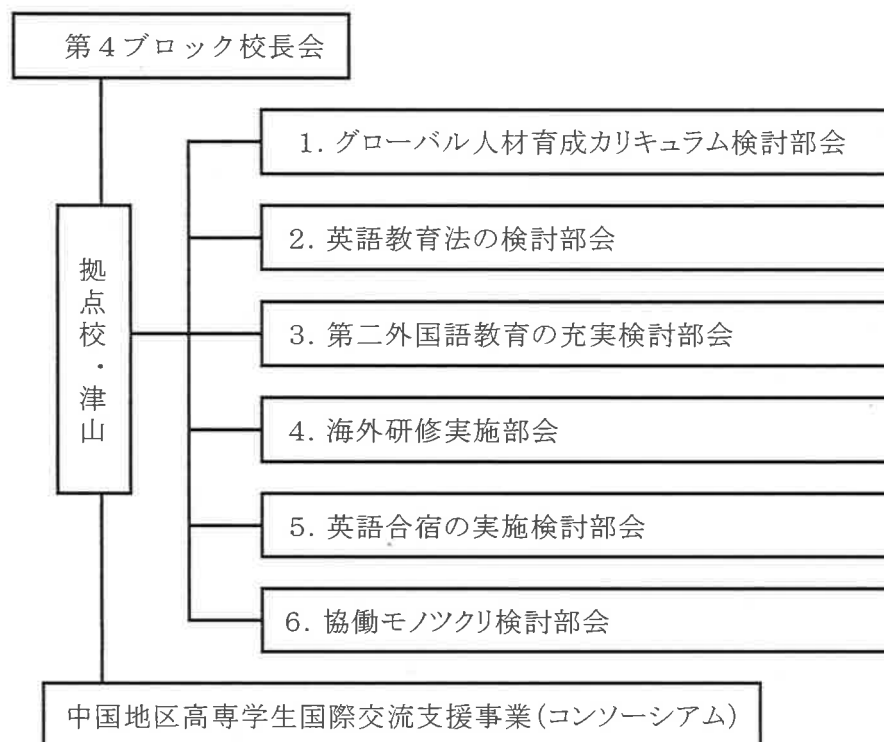
別紙一覧

1. 組織図 3 枚
2. 第二外国語教育の実態調査表
3. 中国語の出前授業教案
4. 中国語、ハングルの集中講義実施要項
5. 平成 31 年度高専フォーラムポスター発表投稿票
6. 共同海外研修プログラム一覧表
7. 海外研修参加学生数集計表
8. 英語合宿要項
9. 永進専門大学英語村日程表
10. 提携校との教員交換実施実績
11. 教員研修実施記録
12. 短期留学生受け入れ状況調査結果
13. HP 表紙

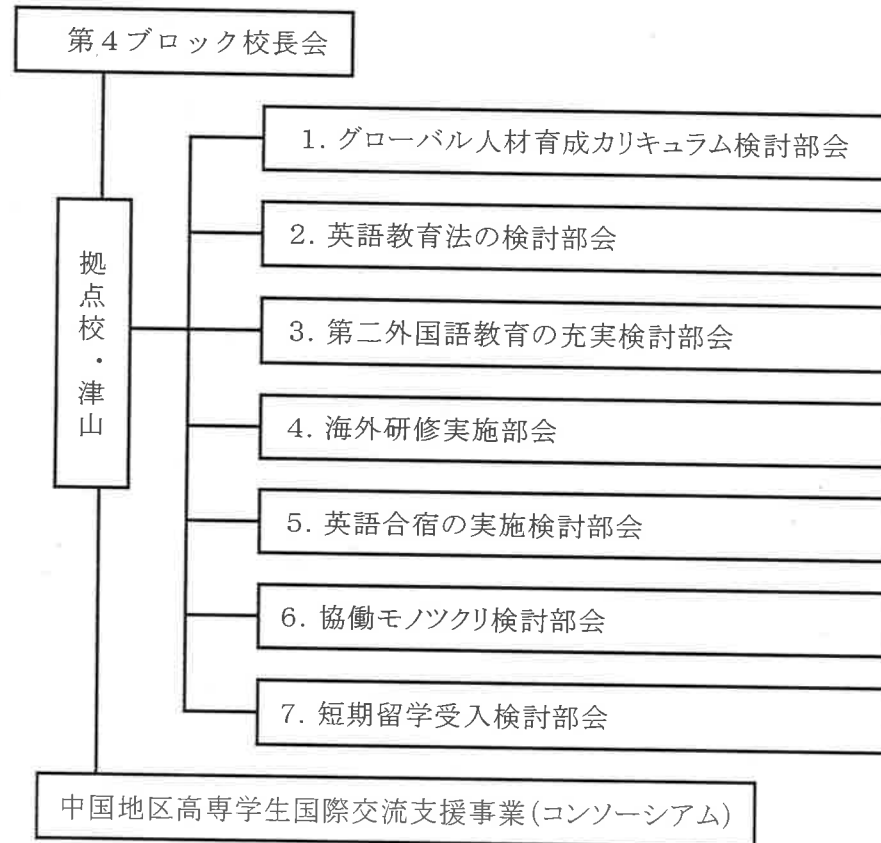
H28 年度第 4 ブロック グローバル 高専 事業 組織 図



H29 年度第 4 ブロック グローバル 高専事業組織図



H30 年度第 4 ブロック グローバル 高専 事業 組織 図



高専名	外国語名	配当学年（単位数）	講師情報 その他
米子	ドイツ語 中国語 韓国語	4年（3） 5年（2） 5年（2）	日本人・非常勤 外国人・非常勤 外国人・非常勤
松江	中国語	4年（1） 5年（1）	外国人・非常勤
津山	中国語 ドイツ語	4年（2） 5年（2） 4年（2） 5年（2）	日本人・常勤 日本人・常勤 4年2単位は28年度なし
広島商船	ドイツ語 フランス語 中国語	4年（2） 商船5年（2） 4年（2） 商船5年（2） 4年（2） 商船5年（2）	日本人・常勤 日本人・常勤 日本人・非常勤 外国人・非常勤
呉	ドイツ語 中国語 ハングル語	4年（2） 5年（2） 4年（2） 5年（2） 4年（2） 5年（2）	日本人 外国人 外国人
徳山	ドイツ語 中国語	4年（2） 5年（1） 4年（2） 5年（1）	日本人・常勤 日本人・非常勤
宇部	ドイツ語 中国語	4年（2） 4年（2） 5年（2）	日本人・非常勤 日本人・非常勤
大島商船	ドイツ語 中国語 ハングル語	4年（2） 5年（2） 4年（2） 5年（2） 5年（2）	日本人・非常勤 外国人・非常勤 外国人・非常勤
阿南	中国語	5年（1）	外国人・常勤
香川	語学特講 中国語	4年（2） 4年（2） 5年（2）	日本人・常勤 日本人・非常勤
新居浜	ドイツ語 中国語	4年（2） 5年（2+1） 4年（2） 5年（2）	日本人・常勤 日本人・常勤 外国人・非常勤
弓削商船	ドイツ語	4年（2）	日本人・常勤 電子機械工学科、情報工学科のみ開講
高知	ドイツ語 中国語	5年（2） 4年（1）	日本人・非常勤 日本人・非常勤

1. 開講言語について

- ・中国語が、13高専中、弓削商船を除く12高専で開講されている。
- ・ドイツ語が13高専中10高専で開講され、これに次ぐ。
- ・米子と呉でハングル語が開講されている。
- ・フランス語は、広島商船で開講されているのみである

2. 講師について

・ドイツ語担当は10高専中7高専が日本人の常勤である。これは伝統的に高専の第二外国語がドイツ語であったことの影響であろう。ドイツ語が必修であった学校も少なくなく、常勤の講師を確保する必要があったものと思われる。

・中国語担当は12高専中、津山のみが日本人専門教員。新居浜と阿南が常勤講師を持つが、いずれも他教科の教員が言わば余技として教壇に立っているものである。これ以外の高専はすべて非常勤講師が担当している。

- ・ハングル語を開講する2高専では、いずれも外国人非常勤講師が担当している。
- ・広島商船でフランス語を担当しているのは、常勤の日本人である

米子高専中国語集中講義教案

2/21(水)3,4 限 (10 時 30 分から 12 時)

I 導入 数字の数え方 (15 分)

10:30 ~ 10:45

文字は読めずとも数は数えられる $\longleftrightarrow$ 忘八wángbā

1, 2, 3, 4...10, 11...97, 98, 99, 100
 101, 102...109, 110...999, 1000, 1001, 1002
 問①1001 ②1010 ③1011 ④1100 ⑤1101 ⑥1110

II 加減乗除

10:45 ~ 11:15

1. プリントA配布+説明 (5分)

練習問題・読み上げ暗算 (10分)

~ 11:00

① $2 + 5 =$ ② $6 - 4 =$ ③ $3 \times 7 =$ ④ $8 \div 4 =$
 ⑤ $16 + 31 =$ ⑥ $29 - 11 =$ ⑦ $15 \times 6 =$ ⑧ $99 \div 33 =$

2. 小数と分数 プリント (3分) + 練習問題 (5分)

~ 11:08

① $1/3 + 1/3 =$ ② $3/4 - 1/4 =$ ③ $3.5 \times 4 =$ ④ $16.6 \div 2 =$

3. お互いに2問ずつ出題しあう (5分)

~ 11:13

2問で加減乗除をすべて使う。(例) $7 + 5 \times 4 - 3 = 24$

() 括号kuòhào, 括弧kuòhú

挨拶代わりに如何?

4. ついでにお金の話 現金(十二セ札)を見せてまわす

練習問題 式を立てて、答えよ (12分)

~ 11:25

①我买了三个巧克力和两个酸奶。巧克力一个三块五, 酸奶一个两块八。一共多少钱?

$$3.5 \times 3 + 2.8 \times 2 = 12.6$$

12 块6毛

②我和女朋友一起吃饭了。我们点了一个麻婆豆腐36块, 一个炒饭25块和两瓶啤酒。

啤酒一瓶12块。一个人要多少钱?

$$(36 + 25 + 12 \times 2) \div 2 = 42.5$$

42 块5毛

5. 面積の式

①図形の名称 プリントA (5分)

~ 11:30

それぞれの名称を音読する

練習問題 与えられた図形について、式を立てて面積を求めよ (10分)

~ 11:40

平方センチメートル=平方公分25píngfānggōngfēn

学生が計算式を音読し、杉山が板書する。

6. まとめ

~ 11:50

①加減乗除、計算式の読み方...つまり日本語と同じ 実は三角比や関数も

図形の名称...一部例外

関数と函数hánshù

②中国語合宿のいざない プリントB配布

中国語 I 特別講義

2018. 2. 21

科4年 氏名

1. 加減乗除の言い方

加jiā $1 + 1 = 2$ 一加一等于二 yī jiā yī děngyú èr減jiǎn $3 - 1 = 2$ 三減一等于二 sān jiǎn yī děngyú èr乗chéng $3 \times 2 = 6$ 三乘二等于六 sān chéng èr děngyú liù除chú $9 \div 3 = 3$ 九除三等于三 jiǔ chú sān děngyú sān $5 + 4 = ?$ 五加四等于多少? wǔ jiā sì děngyú duōshao?

問 計算式を聞き取り、解答せよ。

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

2. 小数と分数

1. 8 一点八 yī diǎn bā

9. 99 九点九九 jiǔ diǎn jiǔjiǔ

1/3 三分之一 sān fān zhī yī

2/7 七分之二 qī fān zhī èr

問 計算式を聞き取り、解答せよ。

①	②	③	④
---	---	---	---

3. 文章問題 問題を聞き取り、式を立てて解答せよ。

①

②

4. 図形の言い方

正三角形 正三角形zhèngsānjiǎoxíng

台形 梯形táixíng

二等边三角形 等腰三角形děngyāosānjiǎoxíng

菱形 菱形língxíng

正方形 正方形zhèngfāngxíng

円周率 圆周率yuánzhōulǜ

长方形 长方形chángfāngxíng 矩形jǔxíng

鋭角 锐角ruìjiǎo

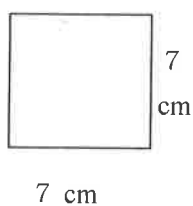
平行四边形 平行四边形píngxíngsìbiānxíng

円錐 圆锥yuánzhui

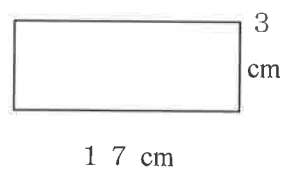
5. 次の図形の面積を、式を立てて解答せよ。

平方センチメートル＝平方公分25píngfānggōngfēn

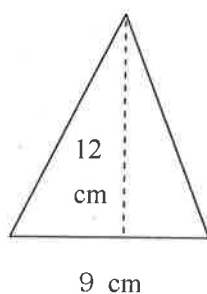
①正方形zhèngfāngxíng



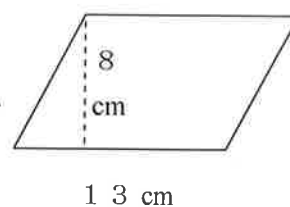
②长方形chángfāng



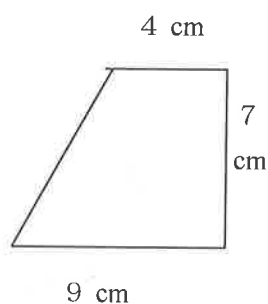
③等腰三角形děngyāosānjiǎoxíng



④平行四边行píngxíngsìbiānxíng



⑤梯形tīxíng



3. 文章問題 問題を聞き取り、式を立てて解答せよ。

①我买了三个巧克力和两个酸奶。巧克力一个三块五, 酸奶一个两块八。一共多少钱?

②我和女朋友一起吃饭了。我们点了一个麻婆豆腐36块, 一个炒饭25块和两瓶啤酒。
啤酒一瓶12块。一个人要多少钱?

第二外国語合同合宿 募集要項

第4ブロックグローバル高専事業 第二外国語の充実検討部会

第4ブロックグローバル高専事業 第二外国語の充実検討部会では、下記の要領にて、第二外国語合宿を行います。他高専の仲間と一緒に実践的な中国語や、ハングルの入門を学んでみませんか。たくさんの諸君の参加を期待しています。

記

- I 講座名
1. 実践中国語（定員40名）
 2. 入門ハングル（定員30名）

II 参加資格

高校生以上。

「実践中国語」については、次のうちのいずれかに該当する者。

- ・中国語の授業を30時間以上受講し終えた者。
- ・中国語検定4級以上に合格した者。
- ・または、それに等しい中国語の運用能力を有する者。

III 実施会場 津山工業高等専門学校 選択教室1・2

住所：津山市沼624-1

電話：0868-24-8233

IV参加費

テキスト代¥2,500（予定） 当日受付時に購入

V 実施日程 平成30年9月22日(土)～24日(月)

9/22（土）			
	7F 多目的ホール	3F 研修室	4F 交流サロン
12:30		受付	
13:00	開校式		講師控え室
13:15	実践中国語	入門ハングル語	
17:00	終了	終了	
9/23（日）			
	2F 国際会議場	7F 多目的ホール	3F 国際会議場用控室
9:00	実践中国語	入門ハングル語	講師控え室
12:00	昼休み	昼休み	
13:00	実践中国語	入門ハングル語	
17:00	終了	終了	
9/24（月）			
	5F 会議室 1	3F 研修室	4F 交流サロン
9:00	実践中国語	入門ハングル語	講師控え室
11:30	片付け	片付け	
11:45	閉校式		
12:00	解散	解散	

VI 申し込み・お問い合わせ

各高専でとりまとめの上、別紙申込用紙にて下記宛申し込むこと。

〒708-8509 岡山県津山市沼 624-1

津山工業高等専門学校 学生課教務係グローバル高専事業担当

TEL : 0868-24-8233 Email : global@tsuyama-ct.ac.jp

VII 申し込み〆切

平成30年5月31日(木) 17時

VIII その他

宿泊が必要な場合、宿泊施設の準備、手配は参加者自身で行って下さい。食事も同様です。

様式2

平成31年度「全国高専フォーラム」教育研究活動発表セッション(ポスター発表)
応募用紙

	氏 名	所 属	役 職
発表者 (発表者が複数の場合は 代表者に「※」を付すこと)	* 杉山 明	津山工業高等専門学校	教授
	畑村 学	宇部工業高等専門学校	教授
	野田 善弘	新居浜工業高等専門学校	教授
	泊 功	函館工業高等専門学校	教授
	橋本 学	松江工業高等専門学校	准教授
代表者連絡先	メールアドレス	a-sugi@tsuyama-ct.ac.jp	
	電話番号	0868-24-8196	
セッションテーマ (別紙1のOS&WS テーマ一覧から選択)	1:カリキュラムマネジメント(教育内容)		☒ 教育・教育環境 ☐ 研究・産学連携 ☒ 国際 ☐ 情報 ☐ 高専マネジメント・組織・人 (いずれかに✓を入れてください)
※ 発表内容に関連するテーマ、または一番近いテーマを別紙1から 選択してください。			
セッション名	高専間及び海外協定校連携による理系学生向け中国語教育教材の開発と活用		
発表する教育研究活動の 概要	(概要) 申請者等は、2012年に高専における中国語及び中国理解教育のあり方について研究会を立ち上げ、その検討、研究、実践に努めてきた。そうした活動を通じて、高専の学生にとって実用的かつ効果的な中国語教育のためには、既存の教材にはない理系学生向けの中国語教材が必要との考えに達し、その作成に取り組んできた。 幸いにしてその必要性が認められ、2014年度からは科学研究費に採択され、2017年4月には『理系のための中国語』(好文出版)を完成、出版にこぎ着けた。2018年度現在、全国の5高専(津山、宇部、新居浜、函館、北九州)において本教材が使用されており、さらに2019年度からは茨城高専でも使用予定である。 今回の高専フォーラムでは、本テキスト編纂の狙いを解説するとともに、実際の授業を経た教育成果および海外協定校と連携した研究会の活動について発表しようとするものである。 同じく高専に於いて中国語教育に当たっておられる先生方の理解を得た上で、本テキストの利用を各高専に拡大し、これを高専における中国語教育のスタンダードとしたい。それができれば、高専の中国語教育の質的保証につながると考えている。		
	〈H24〉 〈H25〉 〈H26 — 28+1年〉 H29 H30-32(研究対象期間) H33〜 〈日本〉 「中国地区高専中国語・中国理解研究会」発足・活動開始 中国語に関するアンケート調査 ・授業参観 ・研究発表 報告 科研費申請 ↓ 採択 基礎C 『理系のための中国語入門』制作 ①分冊執筆 ②パイロット版完成・基理、実践篇 ・試用開始(H27) ・音声教材 ※解説書・実践例集 作成が課題(未完成) 出版 ↓ 4高専で使用開始 〈実現済み〉 海外研究者・実習生の受け入れ(H27・6〜)/ワークショップ(WS)開催(H29・1〜) 〈海外〉 学術交流協定の締結(H26・10) ※研究協力者の研究機関 〈WS講師・実習生の受入・研修生の派遣〉 協定校での高専生の中国語研修(H27・3〜) 基礎C 〈解説書〉 ・文法事項 ・指導上の留意点 + 〈実践例集・アプリ〉 ・ALの収集・開発 ・アプリの開発 高専(授業)・台湾(研修)で AL型授業・PDCA→実践例集 解説書・事例集の公開 高専のスタンダードな 中国語テキスト		

※教育研究活動発表セッションにかかる費用は全額発表者で負担願います。
 ※応募いただいた教育研究活動発表セッションの採択については、実行委員会に一任願います。
 ※発表に係る詳細は、採択通知と共にお知らせします。

平成28年度 中国・四国地区高専共同海外研修プログラム・インターンシッププログラム

主催校	派遣国及び派遣先	29年度実施予定時期	期間	募集開始時期	旅費	対象学年	募集人数 (28年度実績)	他高専学生の 受入人数制限	内容	滞在方法	JASSO 申請の有無	備考
津山工業高等専門学校 徳山工業高等専門学校	中国 (大連東軟信息学院)	8月中旬頃～	約2週間	5月上旬頃～	約10万円	本科3年生以上	未定	受入制限なし	語学研修＋異文化交流	学生寮	無	発着空港は、関西空港と福岡空港の予定。
宇部工業高等専門学校 津山工業高等専門学校	台湾 (國立聯合大学 他数校)	3月上旬	約3週間	10月中旬頃～	約10万円 (配属される大学によって変動の可能性あり。)	本科3年生以上	未定	受入制限なし	語学研修＋研究室配属	学生寮または 近隣シェアハウス	無	発着空港は、高松空港と福岡空港の予定。

平成29年度 中国・四国地区高専共同海外研修プログラム・インターンシッププログラム

主催校	派遣国及び派遣先	29年度実施予定時期 (出発日)	期間	募集開始時期	旅費	対象学年	募集人数 (29年度実績)	他高専学生の 受入人数制限	引率 (期間)	内容	滞在方法	備考
津山工業高等専門学校	中華人民共和国 (大連東軟信息学院)	8月下旬 (8/28)	2週間	4月中旬頃～	約10万円	本科3年生以上	10名程度 (4名)	中四国全高専	津山高専1名＋他高専から1名 開始3日間程度のみ	中国語初級・文化交流	学生寮	津山単独で実施していたものを平成29年度から第4ブロック全体に拡大
広島商船高等専門学校	フィリピン (エミリオ・アギナルド大学)	8/23～9/7	15泊16日	4月 (締切 5/15)	約16万円	本科3年～専攻科2年	20名 (16名)	中四国全高専	(2名) 全日程	一般英語	ホテル	中国地区8高専にて募集していたものを平成29年度から第4ブロック全体に拡大
津山工業高等専門学校	シンガポール (ニールアンポリテクニク)	3月	約2週間	6月下旬頃～	約20万円	本科3,4年生、専攻科に進む5年生、 専攻科1年生	18名	中四国全高専	津山高専1名＋他高専から1, 2名募集(未定)	技術英語	学生寮またはホ ステル	中国地区8高専にて募集していたものを平成29年度から第4ブロック全体に拡大
津山工業高等専門学校	台湾 (明新科技大・南榮科技大)	3月	3週間	秋頃募集開始	約5万円 航空運賃別途6.2万円(参考)	本科4年生以上	15名程度	中四国全高専	津山高専1名＋他高専から1, 2名募集(未定)	中国語、研究室配属	大学の寮	平成29年度から新規開始
津山工業高等専門学校	中華人民共和国・上海市 (萩原工業・萩華機械)	8月・9月 夏季休暇期間に実施	2週間	5月×切	約7万円	本科4年生以上	若干名 (2名)	松江・米子・津山・香川 高専学生	未定	職業体験	ホテル	津山単独で実施していたものをね平成29年度から、募集対象を松江、米子、香川高専まで拡大

平成30年度 中国・四国地区高専共同海外研修プログラム・インターンシッププログラム

主催校	派遣国及び派遣先	30年度実施予定時期	期間	募集開始時期	旅費	対象学年	募集人数 (29年度実績)	他高専学生の 受入人数制限	引率 (期間)	内容	滞在方法	備考
津山工業高等専門学校	中華人民共和国 (大連東軟信息学院)	9月3日～9月16日	約2週間	4月中旬頃～	約10万円	本科3年生以上	10名程度 (3名)	中四国全高専	津山高専1名＋他高専から1名 開始3日間のみ	中国語初級・文化交流	学生寮	津山単独で実施していたものを平成29年度から第4ブロック全体に拡大
広島商船高等専門学校	フィリピン (エミリオ・アギナルド大学)	8月15日～8月30日	15泊16日	4月頃～	約16万円	本科3年～専攻科2年	20名 (16名)	中四国全高専	2名 (全日程)	一般英語	ホテル	中国地区8高専にて募集していたものを平成29年度から第4ブロック全体に拡大
津山工業高等専門学校	シンガポール (ニールアンポリテクニク)	3月中旬	約2週間	6月下旬頃～	約20万円	本科3・4年生、専攻科に進む5年生、 専攻科1年生	18名程度 (10名)	中四国全高専	津山高専1名＋他高専から1名募集(未定)	技術英語	学生寮またはホ ステル	中国地区8高専にて募集していたものを平成29年度から第4ブロック全体に拡大
宇部工業高等専門学校	台湾 (聯合大学)	8月10日～9月8日	約3週間	4月中旬頃～	約10万円	本科3年生以上	未定 (12名)	中四国全高専	宇部高専1名＋他高専から1, 2名募集(未定)	中国語、研究室配属	学生寮または 近隣シェアハウス	発着空港は、高松空港又は岡山空港と福岡空港の予定。
宇部工業高等専門学校	台湾 (聯合大学)	3月上旬	約3週間	10月中旬頃～	約10万円	本科3年生以上	未定 (12名)	中四国全高専	宇部高専1名＋他高専から1, 2名募集(未定)	中国語、研究室配属	学生寮または 近隣シェアハウス	発着空港は、高松空港又は岡山空港と福岡空港の予定。
津山工業高等専門学校	中華人民共和国・上海市 (萩原工業・萩華機械)	8月下旬 夏季休暇期間に実施	約2週間	5月×切	約7万円	本科4年生以上	若干名 (2名)	松江・米子・香川高専学生	未定	職業体験	ホテル	津山単独で実施していたものを平成29年度から、募集対象を松江、米子、香川高専まで拡大
津山工業高等専門学校	ベトナム (ムロドー ベトナム)	①夏季休暇期間 (9月上旬から9月中旬) 及び ②冬季休暇期間 (12月下旬～1月上旬) に実施	約2週間	4月頃	約16万円	本科4年生以上 並びに専攻科1年生	①・②合わせて 10名程度	中四国全高専	H30年度のみ 引率有り	職業体験	ホテル	平成30年度から新規開始

(別紙) ⑨中国地区8高専合同海外研修プログラム(予定)

主催校	派遣国 (派遣先)	実施予定	期間	募集開始 (応募締切)	旅費	対象学年	募集人数	他高専学生の 受入人数制限	引率	内容	滞在方法	JASSO 申請の有無	備考
米子工業高等専門学校	韓国 (南ソウル大学校 祥山大学校他)	9月17日～9月24日	8日間	4月上旬頃 (5月20日(月))	約13万円 (参加人数によって 変動あり)	全学年 (専攻科含む)	15名	米子高専生で定 員が埋まらなかつ た場合に募集	米子高専1名 (予定) (全期間) (予定)	異文化体験と理解 学生交流	ホテルまたは ホステル	無	・平成31年度からプログラムを リニューアル
津山工業高等専門学校	シンガポール (ニールンポリテクニク)	2020年 3月7日～3月22日	約2週間	6月中旬頃 (2019年11月上旬)	約23万円 (参加人数によって 変動あり)	本科3、4年生、 専攻科に進む5年生 専攻科1年生	18名	受入制限なし	津山高専1名 (往路のみ1週間程度)	技術英語	学生寮または ホステル	有 (10万/人 支援予定)	・実施は3月だが、TOEIC受験のことを 考慮して6月から募集をおこなう。応 募の際、担任および保護者の承認を 得ることが条件。 ・中四国高専へ募集をかける。(予定) ・引率不在期間の危機管理対応等、 現地エージェンツへ依頼予定。
広島商船高等専門学校	フィリピン (エミリオアギナルド)	8月下旬	約2週間	4月上旬頃 (5月20日(月))	約16万円 (参加人数によって 変動あり)	本科3、4、5年生 専攻科生	15名	受入制限なし	広島商船2名 (全期間)	レベル別語学研修	先方機関の 宿泊施設(ホテル)	無	・応募の際、担任及び保護者の承認 を得ることが条件。 ・中四国高専へ募集をかけること。
徳山工業高等専門学校	マレーシア (パナソニックオートモーティブ システムズマレーシア)	9月上旬	約10日間	4月上旬頃 (5月20日(月))	約16万円	本科4年生	5名	定員に満たない 場合、他高専から の応募を受け付 ける	徳山高専1名	インターンシップ	ホテル	無	・現在、徳山、宇部、仙台の3校で先 方との協定を検討中。
宇部工業高等専門学校	シンガポール (シンガポールポリテクニク)	8月29日～9月28日	約4週間	4月上旬頃 (5月20日(月))	約35万円 (参加人数によって 変動あり)	本科1～5年生	20名	宇部高専生で定 員が埋まらなかつ た場合に募集	無 (現地での空港から宿舎 までの移動・オリエン テーションは現地エー ジェンツに依頼予定)	英語コミュニケー ション、異文化理解	大学の寮	無	
宇部工業高等専門学校	マレーシア (マラ工科大学)	8月19日～9月19日	約4週間	4月上旬頃 (5月20日(月))	約28万円 (参加人数によって 変動あり)	本科1～5年生	20名	宇部高専生で定 員が埋まらなかつ た場合に募集	無 (現地での空港から宿舎 までの移動・オリエン テーションは現地エー ジェンツに依頼予定)	英語コミュニケー ション、異文化理解	大学の寮または ホテル	無	
宇部工業高等専門学校	台湾 (文藻外語大学)	8月25日～9月7日 (予定)	約2週間	4月上旬頃 (5月20日(月))	約12万円 (参加人数によって 変動あり)	本科1～5年生	12名	宇部高専生で定 員が埋まらなかつ た場合に募集	無 (現地での空港から宿舎 までの移動・オリエン テーションは現地エー ジェンツに依頼予定)	中国語、異文化理解	大学の寮	無	
H31年度 松江高専主管 (徳山・米子高専合同)	オーストラリア (Langports)	8月24日～9月15日	23日間	4月上旬頃 (5月20日(月))	447,000円 (燃油サーチャージ除く)	全学年 (専攻科含む)	30名 最少催行人数 20名	制限なし	未定	語学研修	ホームステイ	無	・各高専で説明会開催予定。 ・上限を超える場合は各高専事務へ の応募先着順

コンソーシアムホームページ

コンソーシアムTwitter



津山高専 平成31年度海外研修プログラム一覧(予定)

事業名	内容	目的	時期	期間	研修地域及び機関	対象	募集予定	引事	費用	滞在先	受入機関	単位 (新学年)	備考
①カナダホームステイ	午前:英語研修 午後:施設訪問、観光	語学研修による英会話の修得、ホームステイを通して国による考え方や物の見方の違いなどを肌で感じ、国際的なコミュニケーション力を高めること。 ※海外入門(日常英会話)レベル	8月下旬	2週間	カナダ (バンクーバー郊外の高専等)	全学年 主に 本科2～4年生	20名程度 ※最小催行人数15名	あり (往路のみ)	航空券、プログラム費用 38万円程度	ホームステイ (3食付)	MANAK ENTERPRISE INC.	【2～4年】 国際交流 【5年】 地域国際交流Ⅱ	現地ではエージェン ト企業をサポートを受 けます。
②大連東軟信息学院 夏期短期留学 + 大連東軟大学	午前:中国語研修 午後:企業見学、観光	語学学習に限らず、五感を駆使して中国や中国文化に触れる。異文化との接触により豊かな人間性を育み、異文化理解力を身につける。 ※海外入門(日常英会話)レベル	9月上旬	2週間	中国 (大連東軟信息学院)	本科3年生以上	若干名	調整中	約11万円程度	学生寮	大連東軟信息 学院	【3～4年】 国際交流 【5年】 地域国際交流Ⅱ	
【紹介のみ】 ③ニュージーランド 高校体験プログラム	バディとともに現地高校の授業や留学生用英語補習授業に参加	語学研修による英会話の修得、ホームステイを通して国による考え方や物の見方の違いなどを肌で感じ、国際的なコミュニケーション力を高めること。 ※海外入門(日常英会話)レベル	8月下旬	2週間 ～ 4週間	ニュージーランドオークランド (現地高校)	本科1～3年生 ※高校生年代限定	制限なし	なし	航空券目安15万円～ プログラム費目安27万円～ ※航空券、プログラム等 すべて自己手配。	ホームステイ (3食付)	オークランド 留学センター	単位を取るためには、 学生自身で研修計画 をエージェント企業と 作成し、2019年2月中 に教務委員会に提出 する必要があります。	外館業者が募集する 研修のため、本校は 研修のサポートは行 いません。引事はあ りませんが、受入期 間による現地サポー トあり。
④合同研究発表会 in 台湾	研究成果あるいは国際化に対する思考を英語での発表	研究成果あるいは国際化に対する思考を、英語で発表し、英語で意見交換をし合うこと。さらには現地学生との交流を通じて、国際的技術者としての素養を身に付けること。 ※海外中級レベル	12月上旬	5日間	台湾 (南栄科技大学)	主に本科3～5年生 及び 専攻科1年生	15名程度	あり	航空券、宿泊費、 交流会費、バス代等 8万円程度 ※例年、津山ロータリークラブ から補助あり。	受入機関の 宿泊施設 または 簡易な寮 (食事なし)	南栄科技大学	無	
⑤タイ王国 プリンセスチュラポンサイエンス ハイスchool科学技術研修	チャゼミ・系構断・卒研に 関する研究成果の発表 および科学・技術を通じた学 術・文化交流	自身の研究成果を英語で発表し、英語で情報交換を行う。科学実験や施設見学、現地学生との交流を通じて国際的に活躍できる素養を身に付けること。 ※海外中級レベル	12月下旬	6日間	タイ (プリンセスチュラポン サイエンスハイスchool)	本科3～5年生 (研究発表する 本人であること)	8名程度	あり	航空券、宿泊費 15万円程度	受入機関の 宿泊施設 または 簡易な寮 (食事なし)	タイ (プリンセ スチュラ ポンサイ エンス ハイスchool)	無	
⑥シンガポール科学技術研修	英語での数学、物理等の 授業 研究題材を用いたのプレゼン テーション実習	工学に必要な英語運用能力の向上、異文化との接触により豊かな人間性を育み、異文化理解力を身につけること。 ※海外中級レベル	2020年 3月中旬	2週間	シンガポール (ニアアンボリテック)	本科3～5年生 及び 専攻科1年生	18名程度	あり (往路のみ)	航空券、宿泊費、授業料 23万円程度 ※JASSO支援金制度利用可 ただし支援条件あり。	受入機関の 宿泊施設 または 簡易な寮 (食事なし)	シンガポール (ニアアン ボリテック)	【3～4年】 シナジーゼミナールⅠ	引事不在期間の危機 管理対応等は現地 エージェントへ依頼予 定。
⑦海外インターンシップ	日系企業での職場体験	日系企業において就業体験を積み、高度な知識・技術にふれながら実務能力を高めるとともに、学校で修得した知識や技術がどのように活用されているかを理解し、併せて社人。技術者としての心構えを学ぶこと。	8月下旬	2週間	・東莞新榮精密汽车配件有限公司(中国) ・萩原工業(株)上海事業所(中国) ・HARIKI PRECISION Co.,Ltd(ベトナム) ・株式会社ムロドー(ベトナム)	本科4年生 及び 専攻科1年生	各2名程度	なし	航空券、滞在費 中国10万円程度 ベトナム16万円程度 ※例年、津山ロータリークラブ から補助あり。	受入機関の 社員寮 または ホテル	・エヌエスエス(株) ・萩原工業(株) ・ハリキ精工(株) ・(株)ムロドー	【4年】 学外実習B 【5年】 シナジーゼミナールⅡ	来年度の夏の実施に 向けて交渉中。
⑧トビタテ！留学JAPAN	文部科学省 海外留学創出プロジェクト	生徒等が自ら立案・作成した計画に基づいた多様な留学を支援することで、個性あふれる多様な留学生から成るネットワークを形成し、ネットワークの中での活動を通じてグローバルに活躍できる力の育成と自らの経験を新しい留学文化の醸成に還元してもらうこと。			高校生コース 14日～1年 大学生コース 28日～2年	・幅広い留学を対象 ・事前事後研修の提供 ・派遣留学生コミュニティ ・充実した奨学金など 採択となる為の「留学計画のサポート」を津山高専にて実施							
⑨中国地区8高専 合同開催海外研修	中国地区の各高専主催の 海外研修に参加	※詳細は別紙の通り	主に8月 又は3月	4日 ～ 4週間									

【備考】

- ・単位履修には、本説明会及び選択科目説明会(平成31年4月上旬)への参加及び事前事後研修への参加が必須です。
- ・各プログラムの応募締め切り予定 「①～③⑦/4月19日(金)」 「⑨/5月20日(月)」 「④～⑥⑧/年度途中に募集開始」
- ・参加費用は今年度の実績ですので、目安としてください。為替レート等により変動します。
- ・参加確定後にキャンセルする場合の航空券、プログラム費用、授業料等の払戻については、航空会社及び受入機関の規則に従います。
- ・参加費用以外に、空港までの往復交通費、現地での交通費、海外旅行傷害保険費、パスポート取得費、その他個人的生活費が必要です。
- ・応募要項、応募用紙は、学術・社会連携推進事務室(地域共同テクノセンター1F)にて配布しています。
- ・参加については、面談及び書類選考にて参加者を決定する場合がありますのでご了承ください。
- ・外務省の危険情報にて「危険レベル1」が発令された場合は研修を中止することがあります。「危険レベル2」が発令された場合は研修が中止となります。

第4ブロック 海外研修参加者統計表

高 専 名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
米子高専	26	36	28	40
松江高専	24	29	15	23
津山高専	47	45	36	57
広島商船高専	26	21	23	23
呉高専	22	25	15	15
徳山高専	13	40	40	31
宇部高専	67	85	84	105
大島商船高専	21	20	16	16
阿南高専	25	21	32	34
香川高専	32	28	36	28
新居浜高専	11	5	25	13
弓削商船高専	21	14	18	16
高知高専	6	36	3	10
合 計	341	405	371	411

※海外研修、海外企業インターンシップ、海外ホームステイ等を含む学生の参加人数をご記入ください。

第4ブロック 英語合宿 募集要項

幹事校 香川高専
阿南高専
呉高専

中国地区及び四国地区13高専合同のAll Englishによる英語キャンプを実施します。

ネイティブスピーカーを講師として招き、英語のみの2日間を体験します。夢を描き形にする力とコミュニケーション力をテーマにした英語合宿です。グローバルに活躍するために必須であるこの2つの力の磨き方を、海外で活躍する高専卒業生のプレゼンや数多くのネイティブスピーカーから直に学ぶチャンスです。

これから海外研修を計画している学生は、是非参加し英語力アップに繋がってください。

1. 日 時 : 平成30年8月27日(月)～8月28日(火) 1泊2日
2. 場 所 : 休暇村讃岐五色台
〒762-0015 香川県坂出市大屋富町 3042
TEL: 0877-47-0231
3. 募集学生 : 40～50名(各校3から4名、各校からの参加状況により変化します。)
学科, 学年, 本科/専攻科 不問
4. 参加費 : 一人約9,780円(1泊2日、3食付き、保険代約250円含む)
27日夕食(バイキング)、28日朝食(バイキング)、昼食
5. 活動内容 : 別紙1 活動内容 の通り
6. 申込締切 : 7月20日(金) 17:00
7. 申込方法 : 各校で参加者を募集し、取りまとめの上、別紙2を阿南工業高等専門学校 電気コース小林 kobayashi@anan-nct.ac.jp へメールにて「第4ブロック英語合宿」のタイトルで送付してください。
8. 参加校の交通手段および経費

交通手段	主管校による経費負担	参加高専による手続き
借上げバス 所属高専の公用車 所属高専のマイクロバス	合計3万円を上限に負担※	各高専で契約・支払をお願いします。 後日、予算振替にて対応いたします。
公共交通手段	なし(全額自己負担)	各高専で手配をお願いします。

※中国地区の参加者について

岡山駅周辺～休暇村往復の借上げバス等の手配を検討しています。詳細については参加人数確定後お知らせします。岡山駅周辺～休暇村往復の借上げバス等を手配する場合、中国地区高専の借上げバス等の上限3万円の経費負担を岡山駅周辺～休暇村往復の借上げバス等の経費に充てる可能性がありますのでご了承ください。

9. 保険について

参加者には保険に加入していただきます。支払方法等の詳細は所属高専へ個別に連絡します。

お問い合わせ先: 阿南高専電気コース 小林美緒 kobayashi@anan-nct.ac.jp

1. スケジュール

2018 ENGLISH CAMP TIME TABLE

Aug, 27th		Aug. 28th	
12:00	12:00-12:30 Registration	7:30	7:30-8:30 Breakfast
12:30	12:30 Opening		
13:00	13:00-14:00 Ice breaking	8:30	8:30-10:00 Session 3 International Travel Simulation
14:00	Break		
14:30	14:30-16:30 Session 1 Learn from Role Models 14:30-15:00 Talk1 15:10-15:40 Talk2 15:50-16:20 Talk3	10:00	Break
		10:30	10:30-12:00 Session 4 Games & Quizzes
16:30	16:30-17:30 Free time & Talk with Native English Speakers		
17:30	17:30-20:00 Session 2 Preparation for International Travel Simulation	12:00	12:00-12:30 Farewell & Closing
		12:30	12:30-13:30 Lunch
18:00	18:00-19:00 Dinner (Group 1) 18:30-19:30 Dinner (Group 2)		
After Dinner	After Dinner-20:00 Session 2 (Continued)		
20:00	20:00-22:00 Free time & Talk with Friends		
22:00	Lights Out		

永進専門大学（韓国）語学研修プログラム

■研修内容：英語村でのネイティブスピーカーによる英語授業。その他、韓国文化等。

■対象：本科1～3年生

■期間：2019年3月10日出発、3月23日帰国（2週間）

■費用：12万円程度（授業料、宿泊費、英語村での食費）

費用に含まれないもの：航空券代（参考価格：福岡ー釜山金海空港2.1万円）
海外旅行保険代

■申込先・問合わせ先：津山工業高等専門学校 学生課教務係

[Email global@tsuyama-ct.ac.jp](mailto:global@tsuyama-ct.ac.jp)

TEL 0868-24-8233

■申込締切：2019年2月1日（金）15：00

Days	10 Sun	11 Mon	12 Tue	13 Wed	14 Thr	15 Fri	16 Sat
08:00-08:45	Going to Fukuoka Airport	Breakfast at Hotel	Exercises/Breakfast				
09:00-09:45		Go to English Village	Transportation	Travel Agency	USA	Job Interview	
10:00-10:45		Openning Ceremony & Level Test	Daily Conversation	Daily Routine	UK	Job Interview	
11:00-11:45		Level Test & Tour	Bank	Presentaion Skills	Customer Service	Telephone English	
12:00-13:45		Lunch/ Free Activity					
13:45-14:30	Meeting at Fukuoka Airport	Getting to know	Cooking	Social Relationship	P.E.	Writing an English	Culture Day
14:45-15:30		Airport	Cooking	Proverbs & Idioms	P.E.	Writing an English	
15:45-16:30	Going From Fukuoka to Tengu	Immigration	Self Introduction	Fluency	Debate	Pronunciation	
16:45-17:30	Going to Hotel	Homeroom	Homeroom	Homeroom	Homeroom	Homeroom	
17:30-18:40		Dinner					
18:40-19:30	Free Time & Dinner	Night Activity					
19:30-21:00		Free Time in English Village					

Days	17 Sun	18 Mon	19 Tue	20 Wed	21 Thr	22 Fri	23 Sat
08:00-08:45	Exercises/Breakfast						Breakfast at Hotel
09:00-09:45	Travel to Daegu	Grocery Store	Post Office	Department Store	Library	Police Station	Going to Teagu Airport
10:00-10:45		Geography	Current Events	Pros and Cons	Listenig Skills	Telephone English	
11:00-11:45		News and Magazine	Speaking Skill	Reading Skill	Listenig Skills	Review & Survey	Going From Tengu to Fukuoka
12:00-13:45		Lunch/ Free Activity					
13:45-14:30		Cooking	Speaking Skill	P.E.	International Munner	Closing Ceremony	Going Home
14:45-15:30		Cooking	Reading Skill	P.E.	International Manner	Going to Hotel	
15:45-16:30		Canada	Newzealand	Hotel English	Writing a Resume	Free Time, Shopping & Dinner	
16:45-17:30		Australia	Grammar	Vocabulary	Writing a Resume		
17:30-18:40		Dinner					
18:40-19:30	Night Activity						
19:30-21:00	Free Time in English Village						

〈H28年度〉

	企画名	実施校	実施日	実施期間	実施場所	参加人数	参加教職員	備考
1	大連東軟信息学院教員による英語使用数学授業	津山高専	8/13（日）～8/26（土）	18日	津山高専		陳 昊（Chen Hao）先生	

〈H29年度〉

	企画名	実施校	実施日	実施期間	実施場所	参加人数	参加教職員	備考
1	大連東軟信息学院への教員派遣	津山高専	8/13（日）～8/26（土）	14日	大連東軟信息学院（中国）		松島由紀子教員（津山高専）	ネットワーク構築とトラブルシューティングについての授業を行った。
2	提携校教員による英語使用授業	宇部高専	11/26（日）～12/9（土）	14日	宇部高専			國立聯合大学（台湾）プログラミング・情報処理
3	提携校教員による英語使用授業	香川高専 高松キャンパス	12/9（土）～12/23（土）	15日	香川高専 高松キャンパス			タイ ラジャマナラ工科大学（化学系科目）
4	提携校教員による英語使用授業	香川高専 詫間キャンパス	11/4（土）～11/18（土）	15日	香川高専 詫間キャンパス			マレーシア マラ工科大学（物理材料系科目）
5	提携校教員による英語使用授業	高知高専	2018/1/28（日）～2/3（土）	7日	高知高専			台湾 國立聯合大学（電気分野の科目）
6	提携校教員による英語使用授業	津山高専	2018/1/8（月）～1/20（土）	13日	津山高専			中国 大連東軟信息学院 王先生（受入科目：数学）

〈H30年度〉

	企画名	実施校	実施日	実施期間	実施場所	参加人数	参加教職員	備考
1	提携校教員による英語使用授業の実施（派遣）	津山高専	9/10（月）～9/16（日）	7日	大連東軟信息学院（中国）		宮崎隼人教員	
2	提携校教員による英語使用授業の実施（派遣）	高知高専	9/25（火）～9/28（金）	4日	國立聯合大学（台湾）		木村電士教員 （専門：建築環境工学）	
		宇部高専	8/20（月）～8/31（金）	10日	永進専門大学（韓国）		田川晋也教員（経営情報学科） 三浦 敬教員（一般科） 篠田 豊教員（機械工学科） 木村大自教員（一般科） 渡邊悠太教員（一般科）	
3	提携校教員による英語使用授業の実施（受入）	高知高専	1/23（水）～1/25（金）	3日	高知高専		呉 芳寛 先生	
		宇部高専						
		香川高専（高松キャンパス）	1/15（火）～1/25（金）	11日	香川高専（高松キャンパス）		ワビバタナクル プンティダ先生	
		香川高専（詫間キャンパス）	1/7（月）～1/25（金）	19日	香川高専（詫間キャンパス）		ルソップ先生・メグ先生	
		米子高専	12/10（月）～12/21（金）	10日	米子高専		ファイズ・ビン・モハマッド・ トゥーラン先生	

第4ブロックグローバル高専事業「英語教育法検討部会」のあゆみ

2016年度

- 2016年4月 第4ブロックグローバル高専事業開始
- 2016年6月 「求められる英語力、英語教育法の検討部会」「英語による英語授業の実施部会」「英語による他の授業の実施部会」発足
- 2016年12月 CLIL研修会
講師：東洋英和女子大学教授 笹島茂氏 於：ピュアリティまきび
- 2016年1月 高専横断型のオムニバス講義（特別授業）の実施 於：阿南高専
- 2016年2月 英語使用数学授業の実施 於：津山高専
- 2017年3月 求められる英語力、英語教育法の検討部会及び英語による英語授業実施部会 於：津山高専

2017年度

- 2017年5月 上記3部会を「英語教育法検討部会」に統合
第1回英語教育法検討部会 於：広島オフィスセンター
- 2017年7月 CLIL研修会
講師：東洋英和女子大学教授 笹島茂氏 於：ピュアリティまきび
- 2017年8月 第2回英語教育法検討部会・英語で行う授業改善ガイドブック編集会議 於：ピュアリティまきび
英語使用授業情報系教員派遣（津山高専） 於：大連東軟信息学院
- 2017年11月 協同学習研修会
講師：岡山大学大学院教授 佐藤暁氏 於：ピュアリティまきび
英語使用物理系授業の実施 於：香川高専（詫間キャンパス）
英語使用情報系授業の実施 於：宇部高専
CLIL研修会
講師：関西学院千里国際中等部・高等部教諭 米田謙三氏
於：津山高専
- 2017年12月 「英語で行う授業改善ガイドブック（2017年度暫定版）」500部発行
英語使用化学系授業の実施 於：香川高専（高松キャンパス）
英語使用電気系授業の実施 於：高知高専
- 2018年1月 CLIL研修会 於：ピュアリティまきび
英語使用数学授業の実施 於：津山高専
- 2018年2月 協同学習先進校視察 岡山市立西大寺中学校第3回公開授業研究会

短期留学生受入の実態調査

1. 過去の短期留学生の受入状況をご回答ください。(過去5年程度)

高専名	年度	期間	派遣元国	派遣元機関名	受入人数	研修内容
米子	H28	9/5～2/10	韓国	南ソウル大学校	1名(男1)	・ICT基礎技術の修得 ・就業体験(市役所・地元企業) ・韓国語授業のアシスタント ・韓国学生団体受入事業の補助業務
松江	H29	9/25～12/15	シンガポール	テマセク・ポリテクニク	2名(男2)	・ゲームプログラム作成(C++) ・ゲームプログラミング理論の勉強 ・日本語学習 ・モーションキャプチャー実習(稲葉先生) ・3研究室合同英語プレゼン参加(橋本研, 高尾研, アラム研) ・授業参加(英語授業でのプレゼン, 電気情報工学科 CADと3Dプリンタ演習(別府先生), 専攻科システムエンジニアリング) ・ESS活動への参加, スポーツデイ, 高専祭参加
	H28	9/23～12/16	シンガポール	テマセク・ポリテクニク	2名(男2)	オセロAI開発, GUIゲームプログラムの開発と日本語研修
	H27	11/16～2/5	シンガポール	テマセク・ポリテクニク	2名(男2)	物理演算を使うゲームプログラムの開発と日本語研修
	H26	4/6～6/27	シンガポール	テマセク・ポリテクニク	2名(男2)	模型飛行機の自動操縦を実現するために必要となるプログラムの開発に取り組んだ。模型飛行機に取り付けた各種センサ(加速度センサ・ジャイロセンサ・気圧センサ・温度センサ)からデータを受信し, 機体の高度と姿勢角を推定するプログラムを開発した。機体の姿勢角の推定は現代制御理論のカルマンフィルタを用いて実現した。
	H25	10/8～12/20	シンガポール	テマセク・ポリテクニク	2名(男2)	人間の動きをMicrosoft社のKinectセンサなどのデプスカメラで観測し, 人間の手や足の動きを真似て動作する4種類のロボットを実現した。それぞれのロボットを組み立てた後, 人間の動きに応じてロボットの各モータを動かすプログラムを開発した。
津山	H29	12/14～12/19	タイ	プリンセスチュラポーンサイエンスハイスchoolプリラム	2名(男1, 女1)	つやまロボットコンテストに本校学生との合同チームを組み出場した。実験教室に参加する等学生との交流を行った。
	H29	9/17～2/2	シンガポール	ニーアンポリテクニク	3名(男3)	それぞれの専門分野の研究室に配属し, 研究活動や授業へ参加し, 学生との交流を行った。
	H29	6/12～7/14	台湾	国立聯合大学	2名(男1, 女1)	英語による中国語授業の教育実習を行った。
津山	H29	7/10～7/22	中国	大連東軟信息学院	2名(女2)	授業を受講し, 学生との交流を行った。
	H28	12/15～12/19	中国 シンガポール タイ	大連東軟信息学院 ニーアンポリテクニク プリンセスチュラポーンサイエンスハイスchoolプリラム	12名(男11, 女1)	つやまロボットコンテストに出場した。
	H28	7/6～7/19	中国	大連東軟信息学院	5名(男1, 女4)	授業受講, 島根へ日帰り旅行を実施し, 学生との交流を行った。
	H28	10/8～10/13	シンガポール	ニーアンポリテクニク	9名(6名, 3名)	留学生交流シンポジウムへの参加, 広島商船にて実習船の見学をおこない, その後津山高専にて卒業研究や学生会主催のイベントに参加した。

	H27	10/30~11/3	タイ	プリンセスチュラ ポーンサイエンスハ イスクールブリラム	3名 (女3)	学祭の見学、化学/生物学実験教室の受講し、学 生との交流を行う。また津山科学教育博物館や 日本科学未来館などを見学した。
	H26	1/12~1/26	中国	大連東軟信息学院	4名 (男3, 女 1)	授業を受講し、学生との交流を行った。
広島 商船						
呉	H30	4/16~4/23	オースト ラリア	Radford College	9名	学校では、最先端の科学技術の3Dプリンタや レーザーカッター体験や専門科目の見学をおこ ない、放課後や休日には、平和記念公園や宮島 観光、広島カープの野球観戦をおこなった。
	H29	6/19~6/26	アメリカ 合衆国	ローラシアン協会 Pleasant Valley High School	9名	学校では、最先端の科学技術の3Dプリンタや レーザーカッター体験や専門科目の見学をおこ ない、放課後や休日には、平和記念公園や宮島 観光、広島カープの野球観戦をおこなった。
	H28	4/8~4/14	オースト ラリア	Radford College	14名	学校では、最先端の科学技術の3Dプリンタや レーザーカッター体験や専門科目の見学をおこ ない、放課後や休日には、平和記念公園や宮島 観光、広島カープの野球観戦をおこなった。
	H28	6/20~6/27	アメリカ 合衆国	ローラシアン協会 グレンデールユニオ ン校	14名	学校では、最先端の科学技術の3Dプリンタや レーザーカッター体験や専門科目の見学をおこ ない、放課後や休日には、平和記念公園や宮島 観光、広島カープの野球観戦をおこなった。
	H28	9/9~9/18	中華人民 共和国	大連大学	2名	大連大学の日本語学院と英語学院での授業見 学、学生交流、そして日本の学生生活や若者の 文化を日本語学院では日本語で、英語学院では 英語でプレゼンした。
	H27	6/15~6/22	アメリカ 合衆国	ローラシアン協会 グレンデールユニオ ン校	5名	学校では、最先端の科学技術の3Dプリンタや レーザーカッター体験や専門科目の見学をおこ ない、放課後や休日には、平和記念公園や宮島 観光、広島カープの野球観戦をおこなった。
呉	H27	8/26~9/4	中華人民 共和国	大連大学	2名	大連大学と呉高専の学術交流。電気情報工学科 が当番学科になり、電気情報に関連するモノ造 りの視点で学術交流を深めた。
	H26	4/11~4/16	オースト ラリア	Radford College	15名	学校では、最先端の科学技術の3Dプリンタや レーザーカッター体験や専門科目の見学をおこ ない、放課後や休日には、平和記念公園や宮島 観光、広島カープの野球観戦をおこなった。
	H26	8/4~8/4	アメリカ 合衆国	ブレマトン市	3名	最先端の科学技術の3Dプリンタやレーザーカッ ター体験や専門科目の見学をおこなった。
	H26	8/27~9/5	中華人民 共和国	大連大学	2名	大連大学と呉高専の学術交流。機械工学科が当 番学科になり、機械に関連するモノ造りの視点 で学術交流を深めた。
徳山	H30	5/16~5/23 2/27~5/15	香港 香港 中国	香港VTC 香港VTC	10名(男子 学生9教員 1) 4名(男子学 生4)	異文化交流 学術研究交流
	H29	4/11~4/18 2/27~5/15 7/10~7/23	香港 香港 中国	香港VTC 香港VTC 大連東軟信息学院	10名(男子 学生8教員 2) 4名(男子学 生4) 1名(男子学 生1)	異文化交流 学術研究交流 異文化交流
	H28	3/23~3/29	香港	香港VTC	13名(男子 学生12教員 1)	異文化交流
	H27	4/1~4/8 4/1~6/15	香港 香港	香港VTC 香港VTC	9名(男子学 生9) 3名(男子学 生3)	異文化交流 学術研究交流

	H26	4/15～4/22 3/17～5/24	香港 香港	香港VTC 香港VTC	9名(男子学生8教員1) 4名(男子学生4名)	異文化交流 学術研究交流
宇部						
大島		受入実績無し				
商船						
阿南	H30	4/1～7/30	ドイツ	オストファリア・ボルフェンビュッテル 応用科学大学	1名(女)	留学生専用の授業時間割を設定し、教養、日本語、日本文化及び専門分野に関する授業を開講している。また、理工科系の学生については、専門教員のプログラムに参加させている。さらに、国際交流協会等地域団体との交流を図っている。
	H29	2/17～7/30	ドイツ	オストファリア・ボルフェンビュッテル 応用科学大学	1名(男)	以下、上記と同じ
	H29	3/10～8/20	ベトナム	ベトナム中央電気短大	2名(男1、女1)	
阿南	H28	10/1～2/28	ドイツ	オスナブリュック応用科学大学	1名(女)	
	H28	3/10～8/20	ドイツ	オストファリア・ボルフェンビュッテル 応用科学大学	1名(男)	
	H28	3/27～8/30	ドイツ	オストファリア・ボルフェンビュッテル 応用科学大学	1名(男)	
	H28	3/24～6/30	インドネシア	スラバヤ電子工学ポリテクニック	4名(男2、女2)	
	H28	3/24～8/24	ベトナム	ベトナム中央電気短大	2名(男2)	
	H28	3/24～8/24	台湾	國立聯合大學	3名(男1、女2)	
	H27	9/1～3/30	台湾	國立聯合大学	1名(男)	
	H27	9/1～3/30	ベトナム	ベトナム中央電気短大	2名(男)	
	H27	9/1～3/30	タイ	キングモンクット工科大学ラカバン	3名(男2、女1)	
	H27	9/1～12/15	インドネシア	スラバヤ電子工学ポリテクニック	2名(男1、女1)	
	H27	3/1～8/2	台湾	國立聯合大学	3名(女3)	
	H27	3/1～6/15	インドネシア	スラバヤ電子工学ポリテクニック	1名(女)	
	H27	3/1～6/15	ベトナム	ベトナム中央電気短大	1名(男)	
	H27	3/1～6/15	ドイツ	オストファリア・ボルフェンビュッテル 応用科学大学	1名(女)	
	H26	9/20～3/20	タイ	キングモンクット工科大学ラカバン	1名(男)	
	H26	9/20～12/20	タイ	キングモンクット工科大学ラカバン	1名(女)	
	H26	9/20～12/20	ベトナム	ホーチミン市電気短期大学	1名(男)	
	H26	11/15～2/14	インドネシア	スラバヤ電子工学ポリテクニック	2名(男1、女1)	
	H26	11/15～5/15	台湾	國立聯合大學	1名(女)	
	H26	12/10～3/25	ベトナム	ベトナム中央電気短期大学	1名(男)	
	H26	12/10～3/25	ベトナム	ダナン工業短期大学	2名(男1、女1)	

	H26	2/5~7/30	タイ	キングモンクット工科大学ラカバン	2名(男1、女1)	
阿南	H26	2/5~4/30	ベトナム	ホーチミン市電気短期大学	1名(男)	
	H26	2/5~4/30	インドネシア	スラバヤ電子工学ポリテクニク	2名(男1、女1)	
	H26	2/5~7/30	ドイツ	オストフアリア応用科学大学	1名(男)	
	H26	2/5~3/29	ドイツ	オストフアリア応用科学大学	1名(女)	
	H26	3/4~8/21	ドイツ	オスナブリュック応用科学大学	1名(男)	
	H26	3/4~8/21	ドイツ	オスナブリュック応用科学大学	1名(男)	
香川高松キャンパス	H30	4/12~6/30	フランス	トゥール大学	2名	グローバルエンジニア研修プログラム(指導教員の下で、与えられたテーマについて研究・研修を行う。他、日本文化体験など)
	H30	5/1~7/31	タイ	ラジャマンガラ工科大学 タンヤブリ校	3名	グローバルエンジニア研修プログラム(指導教員の下で、与えられたテーマについて研究・研修を行う。他、日本文化体験など)
	H29	4/13~6/30	フランス	トゥール大学	2名	グローバルエンジニア研修プログラム(指導教員の下で、与えられたテーマについて研究・研修を行う。他、日本文化体験など)
	H29	6/6~7/31 6/13~9/12	タイ	ラジャマンガラ工科大学 タンヤブリ校	3名	グローバルエンジニア研修プログラム(指導教員の下で、与えられたテーマについて研究・研修を行う。他、日本文化体験など)
	H28	4/14~6/29	フランス	トゥール大学	1名	グローバルエンジニア研修プログラム(指導教員の下で、与えられたテーマについて研究・研修を行う。他、日本文化体験など)
	H27	4/9~4/30	タイ	ラジャマンガラ工科大学 タンヤブリ校	6名	グローバルエンジニア研修プログラム(指導教員の下で、与えられたテーマについて研究・研修を行う。他、日本文化体験など)
	H26	7/28~8/11	台湾	正修科技大学 正修科技大学大学院	2名	グローバルエンジニア研修プログラム(指導教員の下で、与えられたテーマについて研究・研修を行う。他、日本文化体験など)
香川詫間キャンパス	H30	4/12~6/30	フランス	トゥール大学ブローア	2名(男2)	タイマ用ICを使ったモータの速度制御とシミュレーション Arduinoを用いたロボット制御
	H30	5/1~7/31	タイ	ラジャマンガラ工科大学 タンヤブリ校	3名(男1、女2)	通信ネットワークシミュレーション PHP言語を用いたWebアプリケーションの開発 シミュレータを用いたTCP輻輳制御の解析 PIC ICを用いた各種モータ制御
	H29	3/14~3/31	マレーシア	マラ工科大学 大学院 NANO-SciTech Center, Institute of Science	15名(男3)(女12)	半導体デバイスプロセス体験及びpn接合太陽電池作製実験 大学院生による学会発表用英語レジメ作成指導 国際セミナー共催(応用物理学会及び電子情報通信学会共催)
	H29	4/13~6/30	フランス	トゥール大学ブローア	2名(男2)	JAVAアプリケーションの開発 ARマーカを用いたタンジブルプログラミング
	H28	4/13~6/30	フランス	トゥール大学ブローア	1名(男)	教材としての放射線の可視化
	H28	6/20~7/22	台湾	国立聯合大学	女性2名	中国語教育実習生 中国語、国際理解関連の科目にて実習を実施 休日は近隣文化施設の見学や地域のイベントに参加
新居浜	H29	6/19~7/21	台湾	国立聯合大学	女性2名	中国語教育実習生 中国語、国際理解関連の科目にて実習を実施 休日は近隣文化施設や工場の見学や地域のイベントに参加
	H29	6/26~7/20	台湾	国立聯合大学	男性4名	インターンシップ生 指導教員のもとで研修を実施 休日は近隣文化施設や工場の見学や地域のイベントに参加

弓削 商船	H29	10/15～ 10/18	フィリピン	NYK-TDG Maritime Academy	10名（男10）	船員を目指す日比学生の相互理解を深め、相乗効果を促すこと、日本の街や文化、海事教育に触れ、異文化交流を図ることを目的に、学生の授業及び実習への参加及び本校学生との交流を行った。
	H28	11/2～11/11	モンゴル	モンゴル科学技術大学	4名（男4）	同大学と共同で進めている「越境大気汚染問題」に関する研究を行った。また、商船祭への参加、クラブ体験、留学生を含む本校学生との研修旅行なども行い、文化の相互理解を図った。在籍大学において1単位が認定された。
	H28	11/1～11/10	タイ	ナコンパノム大学	4名（男4）	同大学と共同で進めている「メコン川の自動水深計測ロボット」と「マイコン応用機器」に関する研究を行った。また、商船祭への参加、クラブ体験、留学生を含む本校学生との研修旅行なども行い、文化の相互理解を図った。在籍大学において2単位が認定された。
	H28	10/9～10/12	フィリピン	NYK-TDG Maritime Academy	10名（男10）	船員を目指す日比学生の相互理解を深め、相乗効果を促すこと、日本の街や文化、海事教育に触れ、異文化交流を図ることを目的に、学生の授業及び実習への参加及び本校学生との交流を行った。
	H27	11/2/～ 11/13	モンゴル	モンゴル科学技術大学	5名（男4、女1）	同大学と共同で進めている「越境大気汚染問題」に関する研究を行った。また、商船祭への参加、クラブ体験、留学生を含む本校学生との研修旅行なども行い、文化の相互理解を図った。在籍大学において1単位が認定された。
	H26	10/30～ 11/10	タイ	ナコンパノム大学	4名（男4）	同大学と共同で進めているロボット開発を行った。また、商船祭への参加、クラブ体験、留学生を含む本校学生との研修旅行なども行い、文化の相互理解を図った。在籍大学において2単位が認定された。
高知	H29	6/27～7/21	台湾	國立聯合大学	2名（男2）	土木・建築系の本科・専攻科の実験実習や演習に参加し、専門科目を通じて日本人学生と交流を行った。

2. 短期留学生受入につきまして、問題点等ございましたらご回答ください。

(米子高専)

- ・インターン先企業の開拓
- ・学生寮の使用方法（自炊の可否）
- ・派遣元機関とのコミュニケーション（必要書類・必須受講内容等）
- ・短期留学生とその他学生（日本人学生・正規留学生）との交流機会の設定

(松江高専)

担当教員が限定されており、ほぼ2名の教員で固定になっているのが現状。なるべく多くの教員、学生に関わってもらうことが重要と考え、取り組みを工夫している。

(津山高専)

研究室に配属し課題研究を行わせるのは良い方法だと思うが、引き受ける研究室(教員)が少ない、或いは固定している。

(呉高専)

ホームステイプログラムの場合は、ホストファミリー（学生）の確保が困難

(阿南高専)

経費の不足、要員の不足、受入に係る学寮部屋の確保、設備の充実

(香川高専 高松キャンパス)

1. 短期留学生の希望する研究分野と本校指導教員の研究分野のマッチングが難しい。
2. 短期留学生の受入を快諾していただける指導教員が少ない。
3. 受入時期が4月頃であり、寮の空き状況が3月初旬にならないと確定しないので、短期留学生受入可否の回答がギリギリまたは間に合わない。
4. 受け入れた研究室など特定の場所でグローバル化の雰囲気になるが、学内全体にまで浸透できていない。

(香川高専 詫間キャンパス)

現在は、研究室配属になっている。

教育的配慮から、学生同士で相談しながら研修を進めたいので、毎日まとまった時間を取りたい。しかし、学生は授業があるので、まとまってできるのは、卒研の時間や授業をとっていない時間、放課後になり、まとまった時間がとれない。

(新居浜高専)

短期留学生の受け入れの実績がまだ少なく、学内の調整に手間取ったり、研修プログラムの充実を検討する必要がある。

複数の機関から多くの短期留学生を受け入れたいと考えているが、宿泊施設を含め受け入れ態勢の整備が必要である。

上記の2点を含め、他高専の情報を教えていただければ幸いです。

(弓削商船高専)

受入業務に必要な書類等の作成を依頼した際に、なかなか受入先の大学等から書類が提出されず、事務作業が滞ることがある。

- 2018 年 3 月 第 3 回英語教育法検討部会 於：阿南高専
グローバル高専事業ホームページ完成・運用開始
- 2018 年度**
- 2018 年 7 月 協同学習講演会
講師：和歌山大学教授 江利川春雄氏 於：ピュアリティまきび
- 2018 年 8 月 英語で授業を行う教員キャンプ（2泊3日）
講師：京都外国語大学短期大学教授 安木真一氏
第 1 回英語で行う授業改善ガイドブック（2018 年度増補版）編集
会議 於：ピュアリティまきび
英語使用授業建設環境系教員派遣（香川高専・高松キャンパス）
於：ラジャマンガラ工科大学 タンヤブリ校
英語使用授業教員派遣（宇部高専） 於：永進専門大学
- 2018 年 9 月 英語使用授業数学教員派遣（津山高専） 於：大連東軟信息学院
英語使用授業建築系教員派遣（高知高専） 於：国立聯合大学
- 2018 年 10 月 第 2 回英語で行う授業改善ガイドブック（2018 年度増補版）編集会
議 於：岡山国際交流センター
- 2018 年 11 月 協同学習先進校視察 岡山市立岡輝中学校第 2 回公開授業研究会
英語使用授業電子系教員派遣（香川高専・詫間キャンパス）
於：マラ工科大学
- 2018 年 12 月 英語使用電気電子系授業の実施 於：米子高専
英語使用建設環境系授業の実施 於：香川高専（高松キャンパス）
- 2018 年 1 月 英語使用数学授業の実施 於：津山高専
英語使用電子系授業の実施 於：香川高専（詫間キャンパス）
英語使用化学授業の実施 於：高知高専
英語使用経営系授業の実施 於：宇部高専
- 2019 年 2 月 「英語で行う授業改善ガイドブック（2018 年度増補版）」400 部発行
- 2019 年 3 月 第 4 ブロックグローバル高専事業終了